



兵庫県加東市
農業農村情報通信環境整備対策
第1回講習会

令和7年10月

加東市の概要

加東市は、兵庫県北播磨地域に位置し、神戸市の少し上にあります。

人口は、令和7年9月末現在 39,097人

本市の気候は、瀬戸内型気候で、四季を通じて比較的温暖な気候です。



農業の現状

経営耕作地は、水田2,198ha (97.6%)、畑39ha (1.7%)、果樹園14 (0.6%)

中でも、**酒造好適米（山田錦）は、水田作付面積の約41.3%を占め**、主要作物となっています。

山田錦の栽培には、東西にひらけた山間地、昼夜の寒暖差が大きく、粘性土で水はけのよい階段状の圃場が好適地とされています。

加東市にはこれらの条件を備えた土地が多くあり、**山田錦の格付けで最上である「特A地区」**に指定されています。

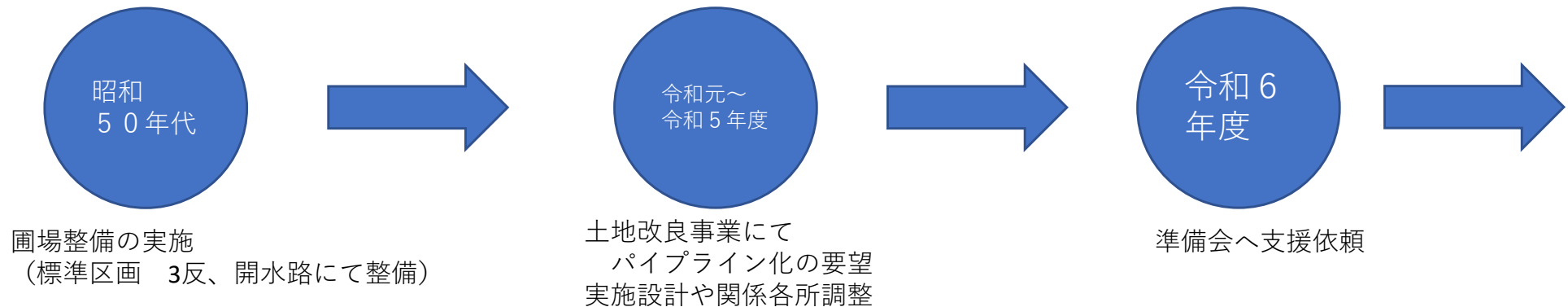
一方、山田錦は稲の長さが長く、大雨や台風により転倒しやすく、成熟前に転倒すると、細く心白が少なくなるなど、栽培管理が難しい。

本市においても担い手不足であり、農業の衰退が進んでいます。

そんな中、スマート農業を地域で進めたいという自治会（岡本地区）が現れた！



サポートを受けるまでの経緯



岡本地区の現状

市内でも有数の高齢化率 (55.7%) ※令和5年9月末時点

地区内の農地 約50ha

(将来的には営農法人が営農する予定)

年々離農者は増えているが、代わりに営農法人が耕作

→営農法人でも人的資源等にも限界を迎えており、農地を守っていけない状況

課題

- ・市にデジタル人材が少ない。
「デジタル?難しい。よくわからない。」
Iがつくと言葉に対する嫌悪感。
- ・スマート農業のイメージが湧かない。
「外国や北海道でしかできるわけがない」
市内でスマート農業を導入している農業者が少ない。
- ・土地所有者や現状の耕作者の理解が必要

準備会へ
支援依頼

依頼目的

情報収集と農業者理解の向上

- ・地域課題が解決できる製品
または通信技術の情報提供
- ・イニシャルコストやランニングコスト
のイメージを知りたい。

1. 農業の将来ビジョン（考え方・構想）

- **農業従事者による生産向上を目指す未来農業に向けて**
 - ・ 省力化、軽作業化の推進による過酷農業からの脱却
 - ・ 若手が働く魅力ある農業の推進
 - ・ 20年、30年先を見据えた持続可能な農業基盤の整備と強化
 - ・ 勘に頼らない見える化農業の推進
 - ・ 地域にあったスマート農業（地形や営農方法等）

2. 実現するための農業の将来ビジョン

- **農業従事者のマンパワー削減と有効活用**
 - ・ IT技術を活用した農業支援
 - ・ 最新技術を搭載した農機具の導入
 - ・ 営農組合とタッグを組んだ農業の推進

遠隔自動化農業



担い手の集約



儲かる農業

取組内容

■ 加東市 個別地区支援スケジュール

月	内 容
8月	加東市の課題確認
9月	サポート会議 開催
12月	講演会・展示会 開催
2月	技術提案内容の確認



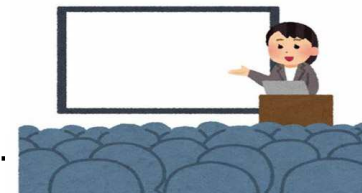
■ 個別地区支援詳細

【9月17日】

- 農業農村情報通信環境整備対策

【サポート会議開催】・事業地区の構想案の説明

・現地視察（岡本地区）



【10月～12月中旬】

- 農業課題へのサポートメンバー技術提案まとめ

【12月1日】

- 講演会・展示会の開催

▶ スマート農業 講演会

▶ サポートメンバーによる展示会



【2月10日】

- サポートメンバー技術提案書のオンライン発表会

▶ 各サポートメンバーからのオンラインによる説明

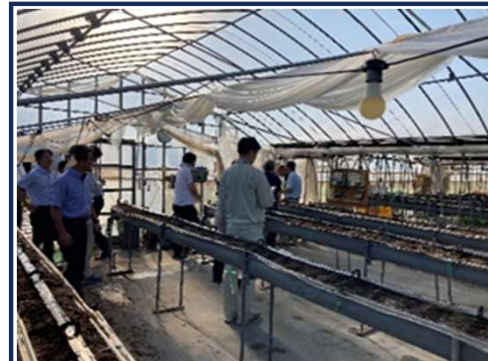


サポート会議（岡本公民館） 令和6年9月17日（木）

事業地区の構想案の説明



現地視察対応（戸ノ池、イチゴハウス、東条川取水を視察）



課題説明

- ・農業の高齢化というところで農業従事者が年々減ってきている
- ・スマート農業への取組
- ・担い手である若手の方々に魅力ある農業を示していきたい

説明および、支援依頼内容

- ア) IT技術を利用し農業支援および、担い手不足からの脱却を目指したい
- イ) 営農互助会(担い手) と協力しと取り組む
- ウ) 岡本公民館をスマート農業用IoTプラットフォームの構築を目指したい
- エ) 岡本公民館敷地内、消防ホース乾燥用鉄塔最上部に、無線アンテナを設置
- オ) 20a以上のほ場について、監視制御可能な自動給水栓を設置する
- カ) 本管自動開閉、流量監視
- キ) 用水ポンプ運転停止遠隔操作とポンプ監視、ため池水位監視といった水監視
- ク) 情報の共有化による可視化
- ケ) 鳥獣対策は、現在柵を設置しているが、今後のメンテナンス方法を含め提案
- コ) 隣接している地区からの獣害の抑制を含め提案
- サ) 今後の公共サービスというところで各無線システムを設置・維持にあたってのコストをしりたい

現地調査後のスケジュール

- ア) スマート農業の普及啓発で、展示会を行う予定。
各社の機器や資料を展示の協力依頼
- イ) 地域情報化アドバイザーによるスマート農業の講演会を行う
- ウ) パイプラインが施行した場所から順番に導入をしていく予定
- エ) 11月15日（金）までに、各サポートメンバーより提案書提出期限
- オ) 提案内容の確認後、各サポートメンバーによる提案内容の発表
- カ) 各サポートメンバーに内容をまとめ提出

スマート農業講演会 開催（岡本公民館） 令和6年12月1日（日）

地域を守り続けることへの挑戦 －新たな農業技術を地域に実装することで環境の変化に打ち勝つ－

■ スマート農業 講演会模様

講師：澤出 剛治（さわで こおじ）



【講演会資料のまとめより】

みなさんが実現したいこと

- ・日本の歴史・文化を支え続けている
誇りある山田錦(特A地区)・田園風景を守り続けたい。
(そのためには)
- ・生産者が減っても地区の生産量を維持・拡大したい。
- ・地区の山田錦の品質・収量を高いレベルで安定・維持したい。
- ・地域全体の農業収益を安定化・最大化したい。

(ただしブラック労働はNG)

⇒ 地区全体で協調し、知恵を絞り、地域特性・作物に応じた
スマート技術を実装・活用することで、必ず実現することができる。

【講演会実施詳細】

- ・講演会
- ・参加者へのアンケート実施

【参加者】

- ・スマート農業への理解を深めるきっかけになった。

【加東市】

- ・課題解決のヒントとなる講演であった。

スマート農業展示会 開催（岡本公民館） 令和6年12月1日（日）

■ 展示会 協力会社一覧

- サポート会社を含め、下記13社からの協力のもと展示会を開催。

NO.	会社名
1	NTTコミュニケーションズ（株）
2	キタイ設計株式会社
3	株式会社クボタ
4	株式会社クボタケミックス
5	一般社団法人 地域総研
6	株式会社farmo
7	株式会社笑農和
8	株式会社 三技協
9	株式会社電信
10	三基工業株式会社
11	NTT西日本 東海支店
12	株式会社エアアシストジャパン
13	BASFジャパン株式会社

■ 加東市 展示会模様

- 個別地区支援のワークショップを兼ね展示会開催。



★ドローンの実演会実施



【展示会実施詳細】

- ・展示会 参加会社：13社
- ・参加者へのアンケート実施

【参加者】

- ・カタログ等で見ていたより、実際に見て、説明を聞いて分かりやすかった。

【加東市】

- ・農業者へ熱量が伝わった。好評であった。

サポート会社からの技術提案書一覧

★各サポート会社から加東市への技術提案書のオンライン説明を、**2月10日に開催。**

NO	団体名	役割	提案書
1	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社関西支社	サポート役	○
2	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	サポート役	
3	地域BWA推進協議会	サポート役	○
4	株式会社電信	サポート役	○
5	ベジタリア株式会社	サポート役	○
6	一般社団法人 地域総研	サポート役	○
7	(株)クボタケミックス	サポート役	○
8	株式会社 笑農和	サポート役	○
9	株式会社クボタ	サポート役	○
10	株式会社三技協	サポート役	○
11	株式会社 インターネットイニシアティブ	サポート役	○
12	株式会社farmo	サポート役	○

● サポート会社から加東市への技術提案書については、別紙参照。

イニシャルとランニング 情報通信基盤①

● 詳細は別紙提案書参照

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
情報通信基盤システム	NTTコミュニケーションズ	Starlink マルチホップWi-Fi			PicoCELA(PCWL-0510) 6年 Starlink機器 5年 IX-2107ルーター 5年
	地域BWA推進協議会	BWA			一般的な電気通信設備の償却年数が9年となりますので、基地局については10年程度をメドに機器更新を考慮ください。 なお、基地局の故障時等の修理対応は基本的にセンドバック対応となりますので、予備機1台の保有をお勧めします。
	株式会社 farmo	プライベートLoRaソーラータイプ			5~7年 バッテリーは3年で交換
	株式会社インターネットイニシアティブ	LoRaWAN			基地局 10年 オプションアンテナ 5年 アンテナケーブル4m 5年 電源ケーブル&ACアダプタ 5年

イニシャルとランニング 情報通信基盤②

● 詳細は別紙提案書参照

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
情報通信基盤システム	株式会社 笑農和	LoRaWAN			屋内基地局 通信BOX 10年 5年
	クボタ ケミックス	LTE LoRa			10年 通信中継機、無線ボックス
	株式会社 電信	LoRa Private			LoRa親機及びLoRa中継機ともに耐用年数は5年

イニシャルとランニング 情報通信基盤③

● 詳細は別紙提案書参照

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
情報通信基盤 システム	株式会社 三技協	WiFi Halow sXGP			5年間 sXGP基地局、WiFi Halow アクセスポイント、

イニシャルとランニング 水管理・監視システム①

● 詳細は別紙提案書参照

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
水管理、監視システム	株式会社 farmo	水位センサー 給水ゲート 給水バルブ			5～7年 バッテリーは3年で交換
		水門管理、監視 アクアモニター アクアドライブ フィールドショット			
	株式会社 インターネット イニシアティブ	水田センサー 圧力式水位センサー			5年
	株式会社 笑農和	自動給水栓 Paditchvalve01 無線式水田センサー			5年
	クボタ ケミックス	自動給水栓 水位水温計 (静電容量式)			10年 電動アクチュエータ 5年 水位水温計
	株式会社 クボタ	パブリッククラウド 水管理システムKSIS 揚水機場、ため池の管理、自動給水栓との連携、大雨時の対応に遠隔操作、自動化			設計耐用年数10年 ※バッテリー消耗品等別

イニシャルとランニング 水管理・監視システム②

● 詳細は別紙提案書参照

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
水管理、監視システム	株式会社 電信	揚水ポンプと連動可能なため池水位監視システム			システムの対応年数は5年です。 水位観測システム内蔵バッテリーの期待寿命は5年ですが、ご使用状況により早めの交換が必要となる場合があります。 バッテリー交換費用 バッテリー代10,000 交換工賃13,700
		揚水ポンプと連動可能なカメラ付ため池水位監視システム ※通信元がLTEのため参考記載。要相談			システムの対応年数は5年です。 本体内蔵バッテリーの期待寿命は5年ですが、ご使用状況により早めの交換が必要となる場合があります。 バッテリー交換費用 バッテリー代10,000 交換工賃13,700
		ため池の水位と連動可能な揚水ポンプ制御システム			5年 ポンプ制御ユニット

イニシャルとランニング 水管理・監視システム③

● 詳細は別紙提案書参照

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
水管理、監視システム	ベジタリア株式会社	圧力式水位計 Field-EXFE-3000 ※通信元がLTEのため 参考記載。要相談			リチウム電池5年間稼働 耐用年数10年程度 リチウム電池を交換することにより 継続利用可能 水位計の精度が落ちてきた際は 交換可能 各機材メーカー保証1年間
		遠隔操作自動水門 (中型) ※通信元がLTEのため 参考記載。要相談			耐用年数20年程度 各機材メーカー保証1年間

イニシャルとランニング カメラ監視システム

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
カメラ監視システム	株式会社 三技協	カメラを活用した 水監視/ため池監視/ ハウス監視/獣害監視/ 水田監視システム			5年間
	ベジタリア株式会社	カメラ監視システム ※通信元がLTEのため 参考記載。要相談			市販乾電池+小型ソーラー 5年程度稼働 各機材メーカー保証1年間

イニシャルとランニング 鳥獣害対策

● 詳細は別紙提案書参照

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
鳥獣害対策	一般社団法人 地域総研	鳥獣被害対策 クルナレーザー			クルナレーザー 保証1年 推定寿命5年 交換部品 半導体レーザー 寿命1~2年 リチウムイオン電池 寿命5年 太陽光パネル 寿命5年
	株式会社 電信	小型~大型捕獲檻対応 害獣捕獲監視 通知システム			捕獲センサー、 対応年数は5年 捕獲センサーに使用されている 乾電池は消耗品ですので、対応 年数にかかわらず必要に応じて 交換
	株式会社 笑農和	箱罠、檻罠、くくり罠 で捕獲できる獣全般で 運用可能			7年

イニシャルとランニング ハウス一括監視

● 詳細は別紙提案書参照

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
ハウス一括 監視	株式会社 インターネット イニシアティブ	あぐりログ 温室向け環境モニタリ ング装置			5年 ※内部センサー2年
		MITSUHAスマート フォンアプリ			
	株式会社 笑農和	園芸ハウス等の 環境モニタリング			7年
		ハウス園芸等の自動灌 水・施肥装置			
株式会社 farmo	農業ハウス内の環境モ ニタリング装置「ハウ スファーム」でハウス 一括管理、監視	5~7年 バッテリーは3年で交換			

イニシャルとランニング 気象観測センサー

● 詳細は別紙提案書参照

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
気象観測等 センサー	株式会社 インターネット イニシアティブ	日射センサー NLS-LW02-42 大気温湿度センサー NLS-LW02-47 (RS) 雨量センサー NLS-LW02-48 CTクランプセンサー LP-01-CT			5年
	株式会社 farmo	設置場所ピンポイント の気象モニタリング装 置「気象センサー」で 気象観測			5~7年 バッテリーは3年で交換

イニシャルとランニング ダッシュボード

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
ダッシュボード	株式会社 インターネット イニシアティブ	統合ダッシュボード WISE-PaaS 各種センサーの計測値や、 カメラ画像等を一元管理			ソフトのため保守業務次第

イニシャルとランニング RTK-GNSS

● 詳細は別紙提案書参照

	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
RTK-GNSS	NTTコミュニケーションズ ※受信端末機との通信が必要	docomo IoT 高精度GNSS位置情報サービス			メーカー保守
	株式会社笑農和	自動操舵			7年
	株式会社クボタ	RTK簡易基準局、後付け自動操舵補助システム「tazna-X」 農業機械の自動化、高精度化			メーカーの基準による

イニシャルとランニング みまもり

● 詳細は別紙提案書参照

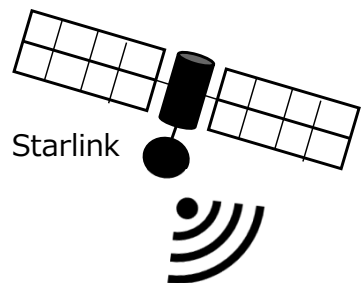
	会社	システム	イニシャルコスト	ランニングコスト	耐用年数
みまもり	地域BWA 推進協議会	みまもり			一般的なコンシューマ機器と同様の扱いになります。 (製品保証は1年)

情報通信基盤 無線規格の比較

● 詳細は別紙提案書参照

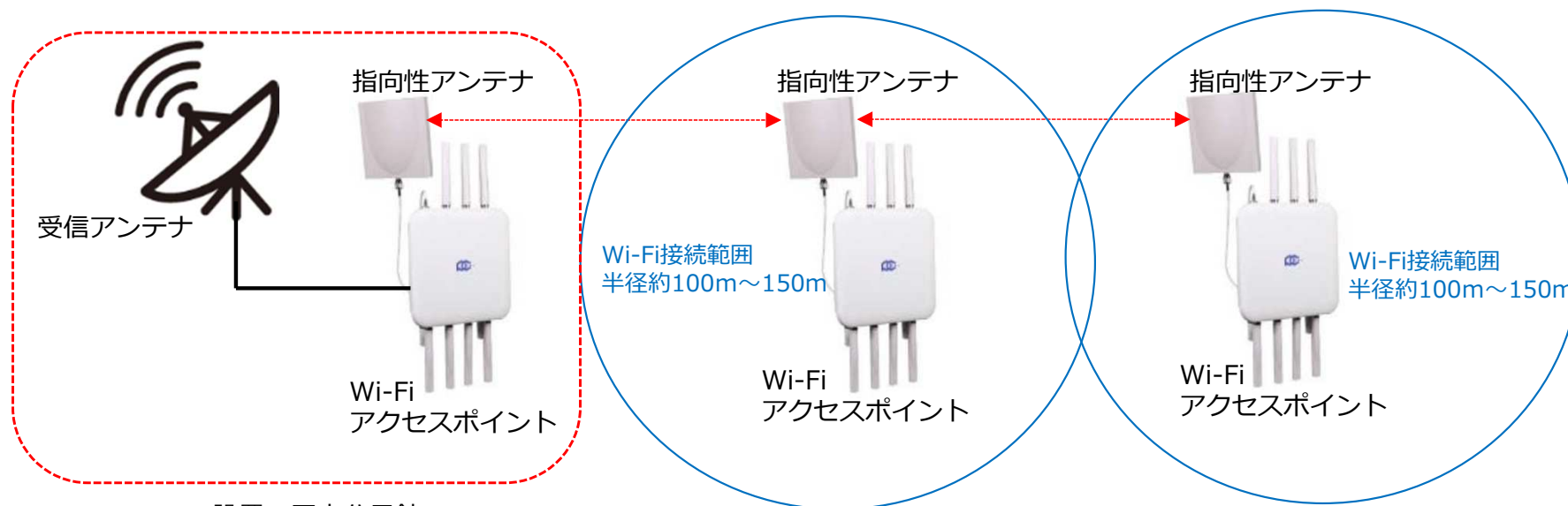
	① Starlink	② ローカル5G	③ sXGP (プライベートLTE)	④ Wi-Fi 6 (IEEE802.11ax)	⑤ Wi-Fi HaLow (IEEE802.11ah)	⑥ LPWA (LoLaWAN)
特徴	衛星インターネットサービス	特定の地域での5G通信を提供	特定の業界向けのプライベート5G	最新のWi-Fi規格OFDMA技術を使用	IoTデバイス向けの低消費電力Wi-Fi	低消費電力 広域ネットワーク
代表的な用途	リモート地域 農業 災害時の通信	工場・キャンパス 農業 イベント会場	製造業・物流 緊急通信 農業	家庭 オフィス、 公共Wi-Fi	スマートホーム 農業 IoTデバイス	農業 IoTデバイス スマートメータ
通信速度	最大1Gbps	最大10Gbps	最大1Gbps	最大9.6Gbps	最大1Gbps	数kbps～数百kbps
範囲	受信は地球全体（衛星網）	数百メートルから数キロ	数百メートルから数キロ	数十メートル	数百メートル	数キロメートル
遅延	約20-40ms	約1ms	約1ms	約1ms	約1-10ms	数十ms～数百ms
メリット	地球上のどこでも利用可能、広範囲をカバー	高速、大容量、低遅延	セキュリティが高く、専用ネットワーク	高速、同時接続数が増加、効率的な帯域幅	長距離通信、低消費電力	長距離通信、バッテリー寿命が長い
デメリット	天候に影響を受けやすい、通信速度が変動することがある 利用料金が高め	初期投資が高い、運用管理が複雑	専門的な知識が必要、初期投資が高い	範囲が限られている、障害物に弱い	対応デバイスが限られている、速度が遅い場合がある	通信速度が遅い、データ量に制限がある

情報通信基盤 Starlink



Starlinkには、特にインターネット接続が難しい地域や状況において、以下のようなメリットがあります

1. どこでも利用可能
Starlinkは衛星を使用して通信を行うため、地上のインフラが整備されていない地域（山間部や離島など）でも安定したインターネット接続を提供できます。
2. 迅速な設置
設置が比較的簡単で、インターネット回線の工事が不要です。これにより、急なネット環境のニーズにも対応可能です。
3. 柔軟性と将来性
従来の固定回線に依存しないため、今後さらに技術が進化すれば、より広範な地域で利用可能性が拡大する可能性があります。



設置：岡本公民館

- ※ 状況により変動があります。
- ※ 見通しがいい条件での表記となります。

Wi-Fiエリアの構築には各アクセスポイント（AP）への配線などが必要で、導入までに多くの時間とコストを要していました。

減衰量を軽減するマルチホップ伝送を活かすことで、無線化を実現し、容易にWi-Fiエリアを構築することができます。

今後の課題

① 情報通信基盤システムの選定

適切な情報通信基盤システムの選定は、業務の効率化に大きく寄与する。事前の徹底した要件分析と比較評価を行い、最適なシステムを選定することが求められる。

② 農業基盤の整備

情報通信システムを導入するにあたり、土地改良事業の実施が必要となってくる。本計画を推進するにあたり、農業基盤と情報通信システムを同時並行で整備していく等の検討が求められる。

③ 市役所内の関連部署との情報共有及び調整

現在、本計画を担当しているのは農地整備課であるが、情報分野を担当する部局と情報共有し多様な課題で調整しながら計画を推進していく必要がある。

④ 連携団体のニーズ把握及び調整

岡本地区の方をはじめ、岡本営農互助会等の各団体と連携し、ニーズ把握を十分の行ったうえ事業推進に向けて調整を行うことが肝要である。

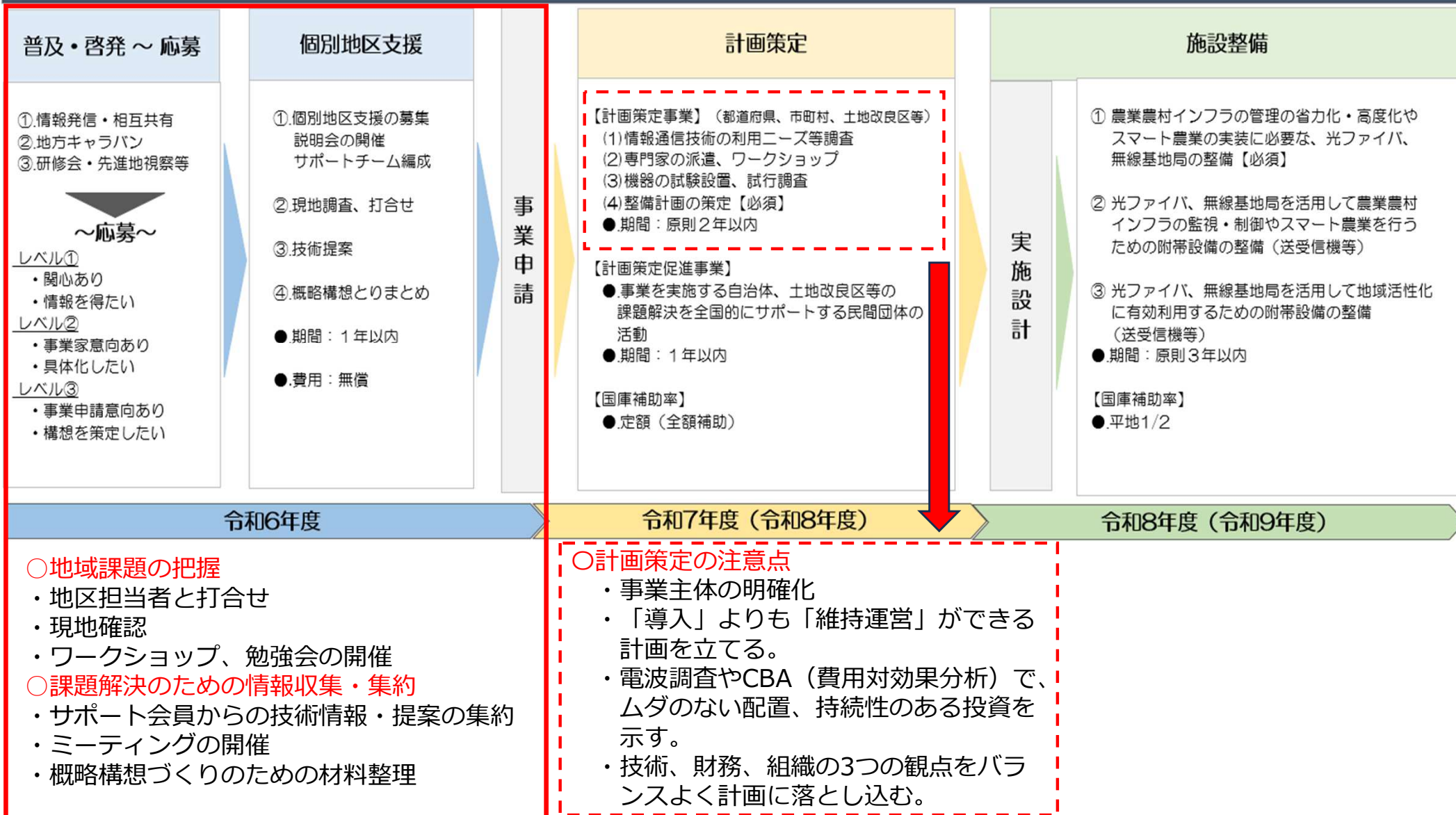
⑤ Iot技術を活用した農業支援の体制作り

Iot技術を活用した農業支援の体制作りは、持続可能で効率的な農業の実現に不可欠です。加東市、岡本地区、岡本営農互助会、農家が一体となり、積極的に取り組む体制づくりが求められる。

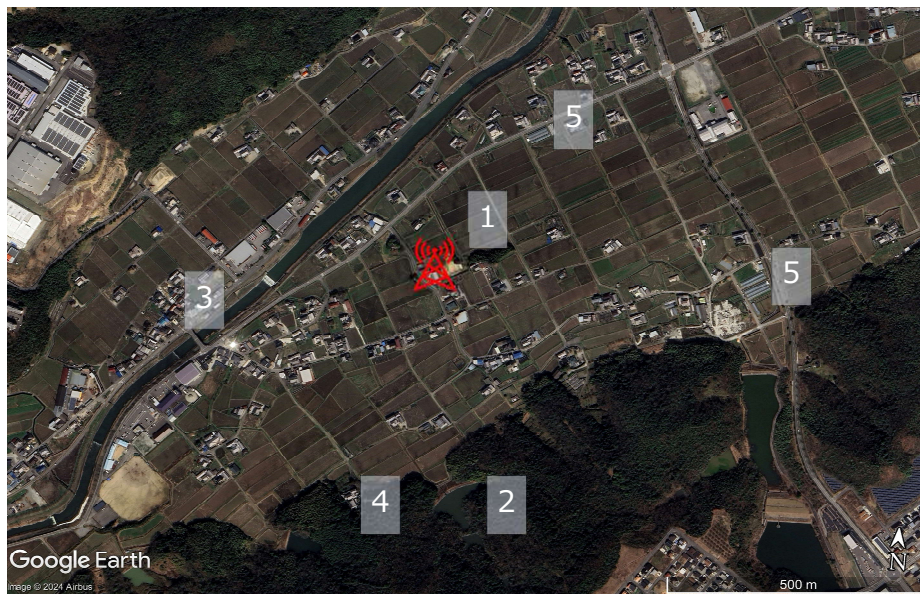
役 割	団 体 名
応募地区	加東市
とりまとめ役	パブリック設計株式会社
サポートメンバー	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 イーマキーナ株式会社 キタイ設計株式会社 地域BWA推進協議会 株式会社電信 ベジタリア株式会社 一般社団法人 地域総研 (株)クボタケミックス 株式会社 笑農和 株式会社クボタ 株式会社三技協 愛知時計電機株式会社 公共SS営業推進部 株式会社 インターネットイニシアティブ 株式会社farmo 株式会社クボタケミックス

年度スケジュール

農山漁村振興交付金（情報通信環境整備対策）



農業の将来ビジョン達成に向けた具体的取組内容②



☆ 共通

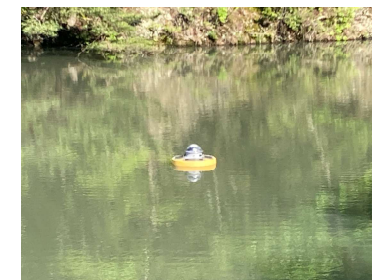
- ・無線基地局設置 (LPWA・Wi-Fi)
- ・情報の共有化 (プラットフォームの構築)

- 1. 水稲** ※パイプラインの整備後 (別事業：調査・設計・敷設)
 - ・自動給水栓、本管自動開閉、流量監視
 - ・生育管理システム
 - ・ドローン 自動操縦による農薬散布時等
 - ・自動走行機能付トラクター・コンバイン・草刈り機 (RTK等利用)
- 2. ため池**
 - ・ハンドル自動開閉 (現在は手動にて開閉を行っている)
 - ・水位監視 既設システムの取り込み
- 3. 揚水ポンプ**
 - ・運転停止遠隔操作とポンプ監視
- 4. 獣害監視**
 - ・電気柵の監視等
- 5. いちごハウス支援**
 - ・ハウス一括管理システム

1. 水稲 自動給水栓、生育管理、作業の省力化



2. ため池 自動開閉・水位監視



3. 揚水ポンプ 遠隔操作



4. 獣害対策 獣害監視

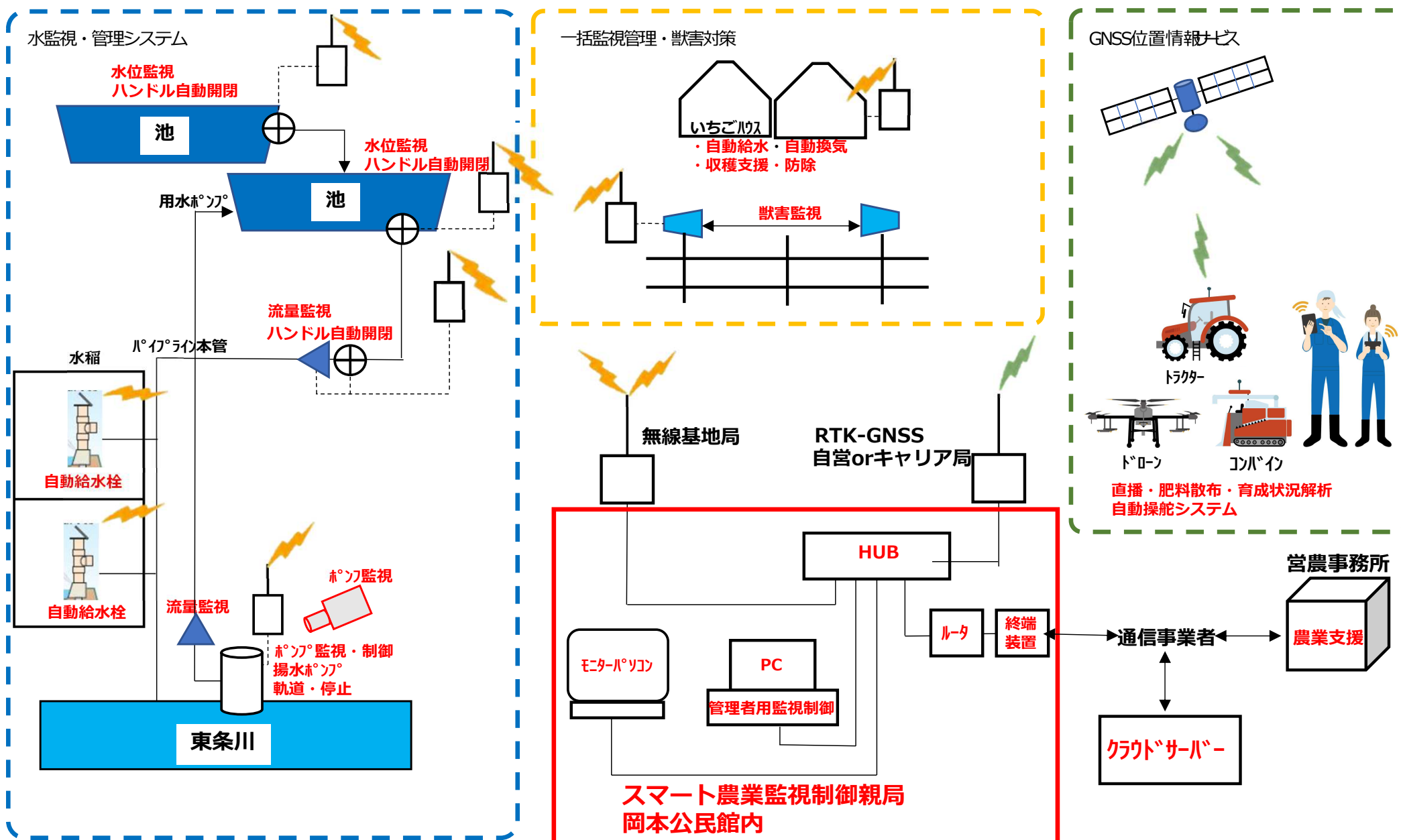
5. いちごハウス 一括管理システム



農業の将来ビジョン達成に向けた具体的取組内容②



農業の将来ビジョンのIT技術活用イメージ図



農業の将来ビジョン達成に向けた具体的取組内容①

達成に向けた取組項目	具体的な取組内容	詳細
水 田	スマート農業用IOTプラットフォームの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業監視制御親局の設置を検討する。 ・無線アンテナ、監視制御パソコンの設置を検討する。 ※停電対策として、無停電電源装置の設置も検討する。
	自動給水栓	<ul style="list-style-type: none"> ・20a以上のほ場について、監視制御可能な自動給水栓の設置を検討する。 20a未満のほ場については、監視制御機能は持たせない。 ただし、水待ちの悪い20a未満のほ場については、別途検討する。
	本管自動開閉、流量監視	<ul style="list-style-type: none"> ・池からのサイホン部に自動開閉バルブ（開閉間100段階制御可能、開閉一情報出力付）の設置を検討する。また、サイホン部分と本管部分に流量計（流量値を外部出力）の設置も検討。 ・開閉操作と流量比較を、公民館・集会場等「スマート農業監視制御親局」で判定するよう検討する。 ・伝送媒体との関係上入出力仕様は別途検討する。
	揚水ポンプ運転停止遠隔操作とポンプ監視	<ul style="list-style-type: none"> ・揚水ポンプは、現場での「入」「切」操作ボタンなど遠隔制御できるよう検討する。 ・ポンプの吸水口をカメラによる監視を検討する。 ※河川の水量監視用として、将来、市役所へ伝送できるよう考慮する。
ため池	水位監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池水位監視を検討する。 ※情報を「スマート農業監視制御親局」に既設設備を取り込むよう検討する。
	ハンドル自動開閉	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドル操作による開閉している、「奥ノ池」「調整池」の2つのため池について、ハンドルに自動開閉機能装置を設置検討する。 ※自動開閉操作としては、「切」～「入」を0～100段階制御できるようにする。 ・流量監視用として監視カメラを設置を検討する。
ほ 場	衛星画像解析による育成管理システムの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・衛星画像解析による育成管理システムの導入を図り、農家へ情報提供できるよう検討する。
獣害監視	獣害監視の自動伝送	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害監視センサー（赤外線、動能監視カメラ、振動センサー等）の導入を検討し、獣害出没地点の検出と画像伝送による、迅速な獣害対策を図る。

農業の将来ビジョン達成に向けた具体的取組内容①

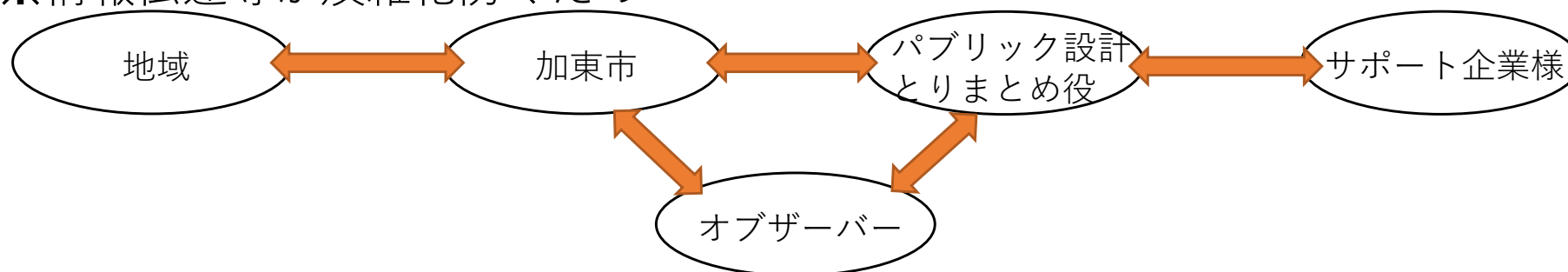
達成に向けた取組項目	具体的な取組内容	詳細
GPSの活用 (RTK-GNSS)	農業機械自動操舵機能	・トラクター・コンバイン・草刈り機の無人運転機能付の農機具の導入検討する。
	ドローン自動航行	・ドローンの農薬散布、肥料散布、育成状況解析の導入を検討する。
いちごハウス 経営支援	一括管理システム（自動給水・換気等）	・自動給水、自動換気、収穫支援（収穫運搬ロボット）、防除（天井からの農液散布）等の導入を検討する。
	収穫支援	
	防除	
情報の共有化	衛星画像解析による育成管理システムの導入	・衛星画像解析による育成管理システムの導入を図り、農家へ情報提供できるよう検討する。
獣害監視	スマート農業支援データの共有化	・「農業支援パソコン」の設置を検討する。

よかったこと

- ・ 当初の目的である地域の課題について、サポート会員企業提案していただき、知りたい情報を収集できた。
- ・ 次の課題についても明確にわかった。
- ・ 展示会を実施して、自治会役員や営農法人が、積極的に関わるようになった。岡本地区以外の自治会も興味を持ってくれた。

難しかったこと

- ・ 地域、とりまとめ役、サポート会員などの連絡体制の構築
※情報伝達等が煩雑化防ぐため



- ・ 地域の情報や課題を聞き取り、サポート会員に共有すること。
→小学生にでもわかるように、説明してほしい。
- ・ 土地所有者や耕作者へスマート農業の理解度向上

今後の展望（予定）

R7

- 農業農村環境整備計画策定（1年目）
- 土地改良事業実施に向けた採択準備

R8

- 農業農村環境整備計画策定（2年目）
- （土地改事業：県庁審査・国審査・採択申請）

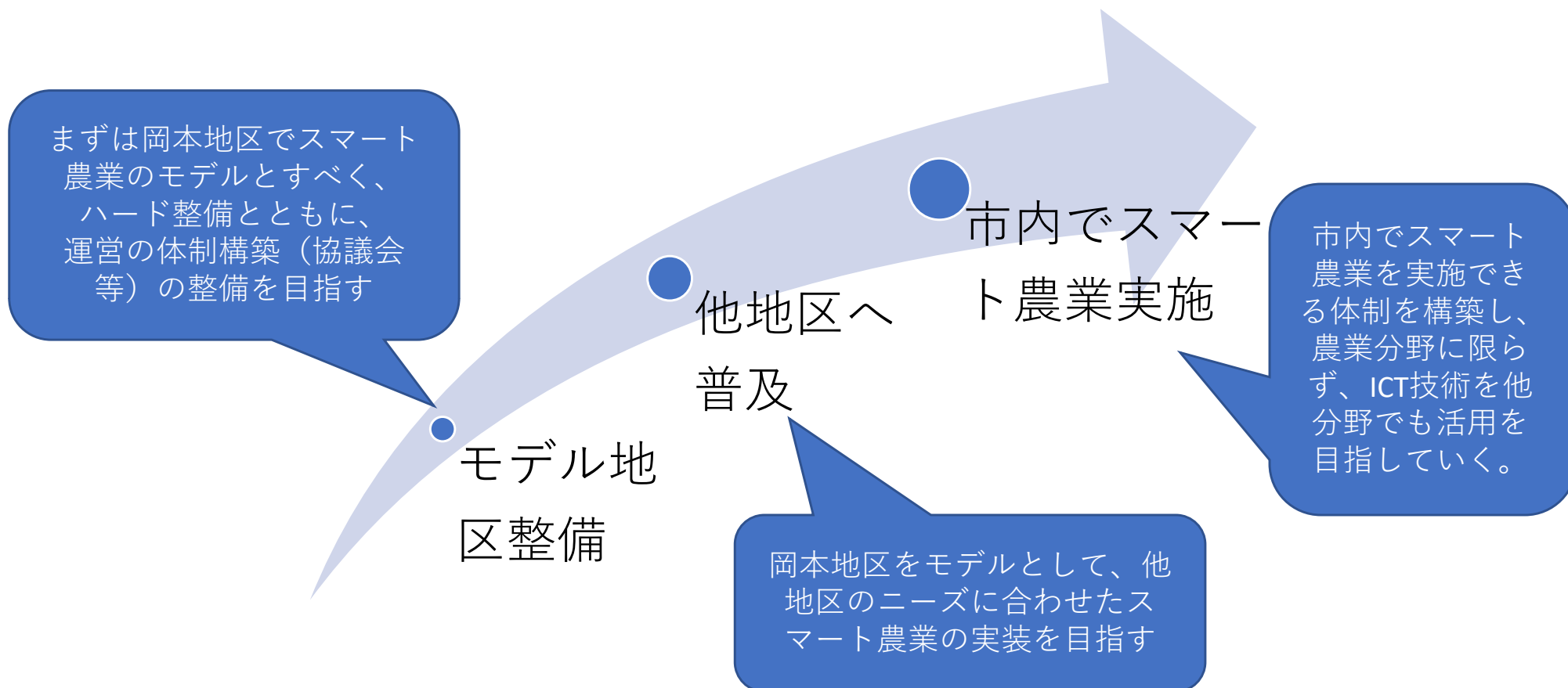
R9

- 土地改良事業（実施設計）
- 情報通信環境整備事業 採択申請、実施設計

R10～R13

- 土地改良事業（工事）
- 情報通信環境整備事業（工事）

将来のビジョン



引き続き皆様のお力添えをいただきたいと存じます。
ご興味あれば、是非ご連絡ください。